

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
心理学				水間 みどり	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	1年次	講義	有 (名)・無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>心理学が対象とするのは人間の営み全てであり、間口が大変幅広く歴史もまだ比較的浅い、昨今注目度の高い学問分野である。本講義ではストレスの多い現代社会に対応していくために、自分を知り、他者を理解するための”こころ”の領域を、臨床心理学的な視点を中心にして理解していくことを目的とする。現代的なトピックスも織り交ぜながら、実践的な知識や理解を養うべく、体験的協同的な学習も取り入れていく予定である。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>自分や他者のパーソナリティへの理解、対人関係における円滑なコミュニケーションについての理解、人間心理への洞察、自己のストレスをマネジメントする手法など、授業で学んだ概念や技法などを理解し、なおかつ他者に説明でき、自分自身の実生活において応用できるようになること。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション 臨床心理学について				
第 2 回	心の探究				
第 3 回	心の探究				
第 4 回	パーソナリティと心理学				
第 5 回	自分を知る (心理テスト)				
第 6 回	コミュニケーションと心理学				
第 7 回	他者を知る				
第 8 回	〈中間試験〉 テストと解説				
第 9 回	芸術と心理学				
第 10 回	災害と心理学				
第 11 回	心の病				
第 12 回	心の病				
第 13 回	心理療法				
第 14 回	ストレス・マネジメント				
第 15 回	コミュニティと心理学				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>予習は授業のなかで指示したテキストの該当箇所を読んでおき、授業終了後、授業内容を理解できているかどうか確認し、質問があれば随時行うようにする。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
中間試験 (30%) 期末試験 (30%) 受講態度 (20%) ノート (20%) 定期試験は出席状況が3分の2以上なければ受けることができない。	秀：適切に問題点を指摘し、論理的かつ現実的な特筆すべき水準の解決策を提示できている。 優：指摘した問題点に対し、すぐれた解決策を提示できている。 良：指摘した問題点に対し、一応の解決策を提示できている。 可：問題点の指摘と解決策の提示が、いずれも最低限の水準を満たしている。 不可：問題点の指摘や解決策の提示ができていない。あるいは3分の1を超えて授業を欠席した。
テキスト (Textbook)	【書名】 改訂版 臨床心理学概説 【著者】 馬場禮子 【出版社】 放送大学教育振興会 【出版年】 2013年改訂版第10刷
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	その都度、授業で明示する。
備考 (Other Information)	シラバスの内容は授業の進行状況などで変更することもあり得る。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	必要あれば、以下のメールアドレスに連絡すること。 pegasus724@1eto.eonet.ne.jp